



躍進する中田中学校長として

思いもよらぬ事態により長い休業期間を余儀なくされ、改めて学校教育の本質・重要性を問い直している今日この頃です。昨年度は副校長として1年を過ごし、本年度からは学校長としてお目にかかることとなりました。前任の加藤校長が中心となって培われてきた素晴らしい中田中学校の校風と業績を汚さぬよう、微力な私ですが、下田副校長はじめ四十四人の教職員と力を合わせ、PTAや地域の方々のご理解とご協力を賜りながら生徒の向上、学校の発展に努力する覚悟しております。



さて次の文は臨時休業中に行われた3月25日の修了式で、現3年生が書いた「3月の振り返り」です。「3月は学校も部活も塾も無くて、とても楽しかった。友達とも遊べたしゲームやテレビもいっぱい見られたけど、やっぱり何か物足りないと感じた。学校があると忙しくて休みたいとなるけど、休みにになったらなくて、そこまで楽しいわけでもなかった。ずっとこんな生活だとやっぱりだらけてしまうので、自分なりにやるべき事と、やりたい事をたくさんして、この休校の間の時間を過ごしていきたいと思う。」

現在、休業期間が5月6日まで延長されました。同じように感じている生徒はたくさんいることと思います。4月からの生活が充実したものになっていることを願っています。

年度初めに

新たに218名の新生を迎え、4月6日に無事、入学式を終えました。保護者の皆様には、晴れの舞台へのご参加を見合わせていただきましたが、せめてお写真をと、下校時に校舎前を開放いたしました。ご理解、ご協力をいただき、大きな混乱もなく終えることができましたことに感謝申し上げます。

さて、入学式・始業式では、生徒に「三つS」について伝えました。三つのSとは、「Study=学習」、「Safety=安全」、「Self-Control=自律」です。

【Study】学習は中学校での根本である。中学校の最初の1年間で、学習や行事・部活動といった、中学生としての生活をしっかり学んでほしい。学ぼうとする人の気持ちに年齢は関係ない。何歳になろうと人は一生学び続け成長する。そのスタートをしっかりと自分の足で踏み出し、中学校生活を肌で感じ取ってほしい。

【Safety】学校生活を、安全、安心に過ごせるように努力すること。そのためには社会生活、学校生活のルールを守ること。これは究極的には皆の命を守るためのものであること。さらには自分を取り巻く人々すべての安全、安心を守る努力をすること。近年インターネットを利用して周りの人々を傷つけてしまう出来事がたくさん起きているが、それを防ぐには「思いやり」の心を持つこと、そして「想像力」を高めることが大切である。この点もしっかり勉強すること。

【Self-Control】3年生になったとき、義務教育最後の学年として、「自分の将来は自分で創り出す」という心構えをもって、社会に羽ばたいてほしい。苦しいときでも、困難な場面にぶつかったときでも、仲間を信じ、先生方を信じ、勇気をもって、自分をコントロールして、前を向くこと。

以上のような話をいたしました。ご家庭でもぜひ共有していただければ幸いです。

1年間を過ごし、明るく伸び伸びと活動している生徒、情熱に溢れ熱心に指導に当たっている先生方の様子などを見て大変感心しています。一方、心しておかねばと思うことがあります。トータルとして家庭・地域共々に恵まれた条件の下にあって生徒たちは落ち着いて過ごしているわけですが、この個々の生徒を見た場合、何かしらの悩みや不満を抱えている者、もっと努力してほしい者、心配で目が離せない者などが当然いるということです。私たちは、そのことを忘れずに、常に生徒一人ひとりにしっかりと目を向けて、悩みや問題の解決を援助したり、持てる力をより多く引き出し、大きく伸ばすことに心がけたいと考えます。昨年の学校だよりでもお伝えしましたが学校教育について一貫する思いは、学校という組織をめぐる様々な関係で「人の和」を大切に、結局「北風より太陽」が勝つように、教育の根本が愛情と信頼にあることを忘れず、長い人生を逞しく生き抜くための基礎を固める中学生時代に、しっかり「セルフコントロール」できる力を身につけさせたい、ということです。あとは、健康と意欲さえあれば、それぞれに価値ある将来が開かれていくものと信じております。

4月6日（月） 【第48回 入学式】

3月に咲き始めた桜の花は、その後の寒さのため、6日もまだ花が咲いており、新入生を見守っているようでした。

218名の新入生は着慣れない標準服に身を包み、緊張した面持ちで入学式に臨みました。真剣に話を傾ける視線には、これから始まる中学校生活への期待と、がんばろうという決意が感じられました。新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は在校生、保護者、来賓の方々が出席できない、異例の入学式となりましたが、新入生の輝かしい表情をみて、多くの方々に支えられた温かい学校であることを感じる事ができました。



【新入生代表のこたば 1年5組 小林 瑞己さん】

暖かな春の訪れとともに、今日、僕たちはこの中田中学校に入学しました。

今日、まだ少し大きめの制服にうでを通した時に、「いよいよ中学校生活が始まるんだ」と、いうことを改めて実感し、少しの緊張とたくさんの期待を胸に今ここに立っています。

以前、部活動見学のために中田中学校に来た時には、先輩たちが生き活きと、そして真剣に取り組む姿を見て、仲間入りできる日を楽しみに感じたことを覚えています。

学習の面では、小学校の時には無かった新しい教科も増え、難しくなるとは思いますが、一生懸命勉強し、学んだことを身につけていきたいと思います。僕は、小学校高学年になってからは、学ぶことが楽しいと感じるようになりました。特に国語と算数は僕に学ぶ喜びを教えてくださいました。そのため、中学校では、たくさんのことを学び将来につながれたらいいなと思っています。

僕たちはこれから、新しい環境の中で、時には苦しんだり、迷ったりすることがあると思います。そのような時でも、僕たちは「やる気」と「元気」という強い気持ちで乗り切り、仲間とも力を合わせ、一歩ずつ心も身体も成長していけるような中学校生活を送っていきたいと思っています。

先生方、先輩方からもたくさんのことを教えていただき、中学生らしく自覚と責任のある行動を心がけ、中学校生活を前向きに楽しんでいける生徒を目指していこうと思います。

これから三年間、よろしくお願いいたします。

令和2年4月6日 新入生代表 小林 瑞己



4月7日（火） 【着任式・始業式】

テレビ放送により、着任式と始業式が行われました。

【着任式】今年度 着任した職員です。よろしくお願いします！

職名	氏名	教科	前任校他
校長	飯塚 哲聡	社会	横浜市立中田中学校
副校長	下田 牧子	英語	横浜市立万騎が原中学校
教諭	甲斐 千祐	社会	横浜市立青葉台中学校
教諭	伏見 真人	社会	横浜市立南希望が丘中学校
教諭	森田 真生	数学	横浜市立保土ヶ谷中学校
教諭	土屋 絵里奈	理科	横浜市立生麦中学校
教諭	平井 正美	理科	横浜市立本宿中学校
教諭	山梨 仁	個別支援	横浜市立橘中学校
教諭	川口 美咲	個別支援	新採用
技能職員	村田 美樹		横浜市立平戸小学校
事務職員	宍戸 裕子		育児休業より復帰

* 離任式は一斉休業のため、中止となりました。

【離任した職員】大変お世話になりました。お元気で！

職名	氏名	転任校他
校長	加藤 慎治	初任者指導
教諭	今島 昭	退職
教諭	湯田 美幸	退職
教諭	須貝 芳郎	横浜市立南戸塚中学校
教諭	安藤 泰三	横浜市立舞岡中学校
教諭	東 賢吾	横浜市立南中学校
技能職員	山本 浩子	横浜市立旭中学校
事務職員	山下 俊一	横浜市立常盤台小学校
特別支援教育支援員	上田 智美	退職

5月の主な予定

学級懇談会、教育課程説明会・部活動説明会は、現段階では5月25日に予定しております。

学校再開後の予定につきまして、様々な変更が考えられますので、決定し次第、メール配信や中田中学校のホームページでお伝えいたします。

※就学援助のお知らせ

横浜市では、経済的な理由で生徒の就学にお困りの方に学用品などを援助する「就学援助制度」を設けています。今年度も就学援助のお知らせを配布いたしました。1回目の受付締め切りは4月17日（金）となっております。申請する方は申請書を学校に郵送してください。4月17日（金）必着でお願いいたします。

（郵送先）〒245-0012 横浜市泉区中田北二丁目20番1号 中田中学校事務室宛

令和2年度 各種相談窓口

相談がございましたら、お気軽にお声掛けください。

○校内「わいせつ・セクハラ」相談窓口 【大山 由希子(養護教諭)】

※教育総合相談センターの一般教育相談もセクハラ相談窓口として利用できます。

045-671-3726~8

○いじめ相談窓口

【生徒指導専任】高木 輝広 【養護教諭】大山 由希子 【人権教育担当】林田 孔太

※次の相談窓口もご利用できます

・24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310(全国共通ダイヤル)

・ふくしま24時間子どもSOS 0120-916-024(福島県教育委員会)

○特別支援教育相談窓口

【特別支援教育コーディネーター】永田 妃沙子

※特別支援教育について

中田中学校では、生徒の学校生活をサポートする「特別支援教育」を行っています。保護者と全職員の共通理解のもと、生徒一人ひとりにあった支援を継続して行っていくことで、生徒自身が持っている力を高め、学校生活の課題改善を目指しています。支援を希望される方は担任または特別支援教育コーディネーターまでご連絡ください。

メンタルヘルス対応の窓口

新型コロナウイルスについて、連日、メディアで大量の情報が流されています。また、感染拡大防止のため全校一斉休業になり、子どもたちの行動が制限されています。このような状況では、体に現れる症状や感染拡大に大人の注意が向きがちですが、子どもたちにも多大なストレスが加わっています。そして、保護者の皆さまにも急な休業に伴い、多大なご負担があると思います。睡眠や食欲の問題が長期間続く、行動上の問題が顕著であるなどのような場合には、カウンセラーなど専門機関に相談するようにしてください。

○泉区福祉保健センター (045-800-2465)

平日 9:00~17:00

○横浜市こころの健康相談センター(045-662-3522)

平日 17:00~21:30 休日 8:45~20:45

○泉区学校カウンセラー(045-800-2465)

○泉区子ども家庭支援センター(045-800-2465)

○感染症の相談窓口

・一般的な相談 9:00~19:00

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター(045-550-5530)

・感染症が疑われる方の相談窓口 9:00~19:00

新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター(045-664-7761)

生徒の作文や写真掲載について(個人情報の取扱いについて)

今年も学校だよりや学年、学級だより等でお子様の作文や写真を載せていきたいと思っております。掲載に際し、同意されないご家庭がありましたら、学級担任または副校長の下田までご連絡ください。